

冬号

病児保育だより

令和3年度 西脇こども園 病児保育室

2月4日は立春です。暦の上では春を迎える季節ですが、まだまだ寒い日が続いています。春の訪れとともに、花粉情報を耳にすることが増えてきます。子どもにも花粉症の発症が増えており、これからの時期は風邪にも似た症状が出始めます。いつもと違う様子がないか、日頃からお子さんの健康状態に気を配りましょう。

注意

鬼より怖い？豆の誤嚥(ごえん)事故

～豆まきの「豆」による誤嚥や窒息に注意しましょう～



年が明け、次のイベントといえば2月3日の節分の日。「鬼は外、福は内」と豆まきをするご家庭も多いのではないのでしょうか。楽しいイベントですが、節分の豆まきの「豆」による誤嚥事故が増える時期でもあります。

消費者庁は、窒息や誤嚥事故を防ぐため、『硬い豆やナッツ類等は5歳以下の子どもには食べさせないで』と呼びかけています。喉頭や気管に詰まると窒息しやすく、大変危険です。小さく砕いた場合でも、気管に入りこんでしまうと肺炎や気管支炎になるリスクがあります。

節分の豆まきは、個包装されたものを使用するなど工夫して行い、小さい子どもが拾って口に入れないよう後片付けを徹底しましょう。

※消費者庁ホームページ参照



子どもの花粉症も年々増えてきています。2～3歳で花粉症を発症することも珍しくなくなりました。また、子どもは自分で症状をうまく伝えることができないので親の観察が重要になってきます。

くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみや充血などの気になる症状が見られたら、一度病院受診されることをおすすめします。



花粉症に気をつけよう



病児保育の予約がスマホからできます。Webで予約をするには利用者登録が必要です。

詳しくは病児保育予約のホームページをご覧ください。

